茶湯故事談

下

茶湯古事談巻ノ七

〇一 楽家時代

〇楽陶器之部

但シ楽焼ハ聚楽焼ノ略語也

〇一 飴也 一名宗慶 俗長二郎 朝鮮人ナリ来朝シテ楽焼元祖ト成妻女ハ日本人也 飴也死後テイ髪シテ宗器ヲ作ル是ヲ尼焼ト云 長治郎幼少ノ内母ノ焼タル也 母ハ楽焼トハ云ハズナリ 飴也宅ハ都上長者町西洞院東ヘ入北側ナリ

初代

〇一 長治郎 号長祐

飴也男ナリ日本元祖トス是ヨリ楽焼ト云 京長命寺境内本瑞寺ニ位牌アリ元文三年五十年忌ニ当ル此時左入茶碗多焼諸国ノ茶人ヘ贈ル

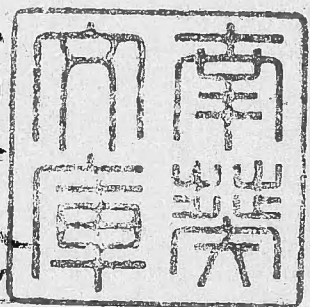
二代

〇一 吉左衛門 後号常慶

是ヨリ楽ノ字ノ印ヲ給ウ 飴也ノ子此妻ヲ妙慶ト云世ニ尼焼ト云説アリ

三代

〇一 吉兵衛

異名ノンコウト云是ナリ

後号道入　明暦二年申二月廿七日死　山田ニ暫住スル事アリ

○一四代 吉左衛門　幼名左兵衛 後改吉左衛門剃髪シテ号一入 元禄九年子正月
後号一入　廿二日死 四十八歳 妻妙入ト云 九十二年ニテ死 妙入ノ父
猪ノ熊谷ノ宗向ト云 蒔絵師ナリ 一入イノ熊一条上ル處

○一五代 吉左衛門　幼名平四郎 又吉左衛門ト改 后剃髪シテ宗入ト云 実ハ油小路二条
後号宗入　上ル丁 金屋三右衛門子也 五十二歳ニシテ死

○一六代 吉左衛門　油小路二条東ル入 大和屋嘉三郎二男也 剃髪シテ左入ト云 妻
後号左入　妙修ト云尼焼アリ 妙ノ一字ヲ彫入ナリ

○一七代 吉左衛門　初名宗吉 又左衛門ト改 テイ髪シテ長入ト云 元文廿年死
後号長入　一説宗入 左入 長入 三人共幼名惣吉ト云

○一八代 吉左衛門　幼名惣吉 後得入ト云也

○一九代 吉左衛門　号了入

○一十代 吉左衛門　文政年中 紀州君ヨリ八文字ノ楽印ヲ賜フ 浮旦入ト云

○一一入 宗入 一元 此三人共ハ勢州へ下リ焼シ事ナリ

○一ノンコウ異名ノ事ハ宗旦竹ノ一重切花生贈ラレ其銘ノンコウト有
夫ヨリ諸人吉左衛門ヲノンコウト異名ス 宗旦モ今ノ日ハノンコウ方へ
行ナド度々申 ノンコウ此花入ヲ楽焼ニスル 當時大坂茨木や安右衛門ニアリ

○一道楽　二代長治郎時分ノ脇焼ナリ

○一宗味　ノンコウ弟 室町一条上ル處ニ住 茶器ヲ作ル

○一一元　一入弟 初元右衛門ト云 後弥兵衛 テイ髪シテ一元ト云 或説ニ一入ノ
子共云ニナリ

○一服釜　二代目弥兵衛号一空 三代仕土斎 弥兵衛ト云 四代玉水甚兵衛ト云

○一吉左衛門　一入養子不縁ニテ油小路出水上ル小川通りニ住ミ茶碗ヲ焼 左入代ニ
公義ヘ中上紐ヲ留ル 當時江戸ニ住ストリ

○一平兵衛　一元手代 中立売ニ住ス

○一玉水弥兵衛　入道宗味 楽翁ト云 在仕土斎男ト云

○一長兵衛　一入手代

○楽焼品々器部

○一 左獅々　宗旦好

○一 葎香合　同好ノンコウ作

○一 向獅々香合　サツマヤ宗固所持青磁写　長二郎作

○一 金こゝ香合　好不知　庸軒好ト云

○一 白菊主香合　左ノ書付ニテ一度ニ二百作ル　黄雨戸棹千家ヨリ冬木ニ遣ス

○一 布袋香合　本　河内写

○一 獅々香合

○一 金雀香合　庸軒好

○一 寿老香合　古キ形

○一 印　蓋置　古代手写

○一 竹ノ節　同　右同断

○一 五徳　右同断

○一 右獅々　同断

○一 菊丸香合　庸軒好

○一 平こゝ香合　青磁釉

○一 金雞香合　庸軒好

○一 亀香合　河内写木形　在今ハ冬木ニ有之

○一 鳥子香合　久田宗全好

○一 根太香合　本形不知　庸軒好ト云

○一 金蛤香合

○一 ホヤ蓋置　久田宗全好ゴフン菊置上ケ

○一 宗人　同　唐物写　利休ノ手写

○一 三ツ葉　唐物釉　右上ニ同し

○一 渧　右同断

○一 蟹　カ子ノ写

○一 夜学　古代形

○皿ノ部

○一 菊皿　本形赤也近代白

○一 柚味噌　古凡形

○一 百合　同

○一 角鉢　利休代ヨリ有古凡形

○一 丈匙茶　手付角　覚々好

○一 鶴　同好

○一 六角　青茶　同好

○一 柏　久田宗全好

○一 重箱鉢　二重赤茶　古凡形

○一 鯨　光悦写本ワ両替町後友宗使ニアリ

○一 栄螺　カ子ノ写

○一 文虻撥ホヤ香炉　覚々好古代小アリモ在

○一 木瓜　古凡形

○一 甲　同

○一 彫牡丹　同

○一 舟　覚々好

○一 蛤　同

○一 サツキ　同

○一 唐雲　利休好カ一入多し

○一 升　柴田祐庵好

○一 青茶瓜形入手鉢　藤村好

○一 綱引手アブリ　赤ニ白縮アリ　永引人　形様本ワ久田宗也ニアリ

○一 四方猪口　良久好一入作

○一 燭臺　手鉦ニ上四手　古風秋

○一 同　青茶釜入古風秋

○一 逆手燭　手付上下皿三手　赤薬手リニ

○一 蓋水次

○一 九火入　京叟好木瓜秋　若盆ニ茶　中村宗哲ヨクニ有ヲ手不ノ左入室

○一 長炭張　三ニ手付口有

○一 鶴香合　孫三郎作不入好　ミラナラデハ出来申ミ

○如心斎好

○一 鶴菱皿

○一 茶入房ノ香合

○一 水滴　赤口手在

○一 ヅツン付　一名湯桶ト云

○一 兎瓦　不審菴家棟ニ在　宗入作

○一 九ノゾキ猪口　赤古風秋

○一 菊燭臺　下薬花赤クモデ　本宗全好

○一 同小ノ方　飴薬

○一 硯　一入作　舊ニ名判在　長五寸巾三寸　久田宗也所持　赤　舊スキテ在　角長し

○一 鐘鑁火入　京叟好サビツ手

○一 アコダ　手付口在り

○一 細引香合

○一 茶入手瓶　一　赤ニ黒ナダレ横ニ手アリ

○一 油テキ　赤ニ肩付口斗　横薬ニ手在

○一 右ノ品々辰年三月一時ニ出来ル也

○一 五百茶碗　秋色々在リ黒赤在　赤ニ月ノ繪有モアリ

○一 木菟香合　元文元年出来ル

○一 山庵子水指　秋末ニアリ　蓋一宗張　自筆書付元文六年　好

○一 鮮香合　文証字

○一 菊香臺茶碗　赤寛保三亥年五十作自筆書付在り

○一 黒茶碗　同時五十作ル　同書付在り

○己上如心好

○一 二代目長二郎ニ香炉宗入之首ニ代目ニ限ル事在　自然ト宗入ニ黄カヽリタルソ茶アレモ時代新ラシ　香炉ソ宗入ハ五ト程ノノ大管入之茶ロニ大根ナルアレハ長二郎ヨリナリ

○名物茶碗之部

本ヵコーノ池善右ヱ門ニ在リ
利休好七種名物ノ内

長二郎作
大黒
大三寸七分
高サ二寸六分

細川越後守殿ニアリ

利休我出家セハ此ノ茶碗ヲ持鉢開ニト云ヒ仍而銘トス
日作
鉢開
黒
主寺所持
大三寸八ト
高二寸六ト

真如堂ノ東陽坊ヘ好ニテノセス故ニ名トス
リ作
東陽坊
大四寸
高高台一寸五分半
高二寸八ト　一寸二ト

本ヵ円頓愛宕黒坊ニモ在
和泉出付ヘ又江戸ニモ在
仙台出付ニ

大四寸
高二寸四ト
リ作
木守
赤
利休弟子中ヘ茶碗ナヲ好次ヲ撰取ニセシニ此茶碗一ツ残ル出来ヨヲ取残ナレハ木守ト号ス

本ヵ大文字ヤ宗夕ニ在

利休大坂ニ居テ早舩ニテ京ヨリ取寄セシカハ名トス
リ作
早舩
赤
目五ツ
大三寸七分
高二寸七ト
高台一寸五ト半

利休好テ弟子ニセスサノミ宜共不存此出来ノ能キヲ不知ハ検梗ヨト云シヨリ号ス
リ作
検梗
赤
目五ツ
大四寸四ト
高二寸四ト
台一寸六ト半

本ヨリ織田監物殿ニ在リ
利休所持ナリ是迄数
合七種名物也

此茶碗五ツ焼
破有臨済五派別レシ
ヨリ号ス
日作
臨済
赤
大三寸九ト
高二寸二ト
臺一寸二ト

天王寺屋五兵衛ニ
アリ宗鎮茶誌ニ
七種ノ内鉢開ヲ除
是ヲ入
小黒

高麗刷毛目ヲ利休
写サス

日作
塩筥
黒
大三寸二ト
高二寸七ト

本高井久兵衛ニ在
今時江戸冬木在

聖
赤
日作
高二寸七分口三寸三分
下三寸五分半
臺一寸九ト

元愛宕坊ヘ好テ
遣ス仍テ号ス
道徳ニ在リ
薬舗在
日作利休好
太郎坊
赤
大三寸四分
高三寸六分半
臺一寸五ト半

本辰己屋四郎右衛門ニ在リ
正徳ノ比安居右京殿ニ入

是モ愛宕ヘ好テ
遣ス故ニ号ス
日作
治郎坊
黒
高二寸六分半
口三寸五分
下三寸七分半

本 サツマヤ素白ニアリ今ノ言也取持
利休平碗ト云モ此也併世上ニ色々アリ
ノ作
平茶碗 黒
大五寸
高三寸二分
本 素些ニアリ今井筒ヤ童右エ門在リ
ノ作 利休好
菖蒲 黒
口大三寸又三寸四分
高二寸九分 但高キ所ニテ
胴三寸六分キニ三寸七分
本 家原自泉ニアリ
ノ作
横雲 赤
大三寸三分
高二寸二分
本 錦ヤ宗珠ニ在 後ニ戸倉長亭所持
日作
一文字 赤
大三寸六分
高二寸六分半
本 堀ノ 海部ヤ宗小雪ニ在
日作
閑居 黒
大サ三寸七分
高二寸八分
本 町田秋波ニ有後宗左取持又紀長北野大焼殿ニ入ルナリ
鉢開キノ面影有ニ仍テノ号
ノ作
面影
大三寸六分
高二寸八分

大三寸八分
高三寸七分
日作
鉢ノ子 黒
在所不知
大坂瀬戸や九三郎所持
後京や吉兵衛へ入
日作
杼枝 赤
宗旦銘
大三寸九分
高三寸五分
宗旦銘自筆朱ニテ
茶碗ニ記在所々取リ
日作 エクボ入ナリ
凡析 黒
大三寸三分
高三寸四分
和久々木小平次所持後
大坂加賀や三郎右衛門白鷹
茶碗ト替ヘル又尾尻
川村九三郎ニ入
宗旦銘
日作
貧僧 黒
口渡リ三寸一分
大サ渡リ三寸三分余
京日野や又右衛門所持也
楽二代目作
十王
大三寸七分
高口断
宗旦銘
日作
マコモ 黒
大三寸六卜
高二寸八卜
和京長寄や忠七ニ在
後矢倉与市へ入
宗旦銘
ノンコー作
小早 赤
大三寸七分
高二寸七分
長治亭作
小瓶 赤
大三寸六分
高二寸七分半
宗旦好
一説利休好ト云
長治亭作
東花坊 赤
大三寸七分
高三寸八分
京村田四郎兵衛ニ在リ

本 宗也ニ在リ
ノンコー作 宗旦銘
塾杖 黒
大口渡リ 三寸七分
高 二寸八分

大 三寸七分
高 二寸九ト
ノンコ作 宗旦銘
昼眼盗
旦所持或時門人夜々忍ケ
ル力同心ナシ茶湯ノ時盃新
気帰ル依テ宗旦如此銘下
ナリ

宗旦銘
長二ラ作
包杖 赤
大 三寸九分
高 二寸五分
後友宗佐所持
後ナ大坂セトヤ九左衛門ニ在

旦好テ八盃ニ
黄セト写也
日作
挽木ノ鞘
赤 大三寸六分
大ノ方 高 二寸七分

白繪ナリ
狂言袴 赤
大 三寸三分
高 ワ新
本 黄瀬戸写 紀良公ニ在

長二ラ作ト
云又ノンコ作トモ云
又光悦写トモ云
小平ノ本臨済ハ五ツ
ノ沓アリ是ハ盃ニ高臺ホ
右ノ内ニ細ク五ツ迫リ程有
臨済 赤
大ヤ臨済ニ白ニ
能似ル所銘トス
宗室書付アリ
常伴所持後
コウノ池善右衛門ニ入

利休好 狂句
十三月ニ大鳥コリ
モマリリケリ
長二ラ作
鳳取リ 黒
高 二寸七分
口渡 三寸七分斗ノ
臺 二寸一分
本 留正直ニ在リ
仙叟加賀ノ浅野川ニテ写ス
是ニ遠山ノ繪ヲ書シム
本ワ繪ナシ

光悦写
青苔
覚々斎好
銘青苔
青苔也
本 山下宗...
所持ナリ

内外ニヘラメアリ
小作
玄翁 黄
高 二寸六分
口 三寸六分
臺 一寸五分
名越浄味伊勢山田ニテ取出ス
亀ヤ源左衛門ヘ又々...

長二ラ作
銘東岸 赤
高 二寸六分
高臺ベッタリト
在口渡リ三寸五分斗
胴ニテ三寸四分
茶碗薄シ
高臺 加...目五ツ在リ

御用御茶碗
御紋内ニ一ツ外ニ三ツ
白赤星ニ之形
御本
高 二寸八分
口渡 四寸

左入作
土師
櫻一ツ白
箱在リ
高三寸
左入作
太平茶碗
二ツ焼
五十ノ内星十五
ホリ入
黒茶碗
黒天目
寸法右同断
銘太郎
左入字
庸軒好
銘太郎
五十ノ内

茶入ノ部

ノンコ作且銘山科

本阿弥光甫ニ在リ

黒釉白ノナダレ在

沈香色ノ如シ

高二寸七分

筋ホリ入

宗室好

廻リ二寸八分

手尺高サ二寸四分

割蓋

銘菜

宗旦好

古松字

銘菜

割蓋

黒ニ白ノナダレ

ノンコ作

且銘アリ

高六寸
フトサ渡リ下六寸五分
左入作
火桶
落込蓋
口渡リ二寸七分
左入写 三十作
黒朱棗筒
高二寸五分
口渡 四寸五分
塗蓋
左入作
竹ノ節
惣高 八寸余
鐘樓
高 五寸七分
口渡 三寸六分
フシキ
庸軒好
福神
大水差
古風秋
寒山
利休好ト云共
実不分明
山梔子
赤塗
蓋一尓張
蝶耳
庸軒好

○建水之部

腰蓑

大サ四寸八分
高三寸八分

エフゴ

ハン子ラト云、唐物ノ鍋ヲ小サク写ト云也

胴ニテ四寸六分
高サ三寸七分

花生ノ部

延命
南バン写 サビ有ル
火色ニテ出ル
高六寸三ト
口一寸一ト
胴三寸ニト

掛
高羅筒
サビ有ル
南バン
筒口かれ
大三寸七分
高八寸五分

口径一寸四分
口ヨリ二ト下ニテ胴三寸
老胴大サ四寸六ト廻リイボノ高サ二ト一寸廻リ三寸二ト
コーカ 京出来
四道
折入
紋ハ金
此処大サ廻リ
七寸八ト
裾ノ高サ
二ト

掛
小槌
古銅
捨ヒ子花入
リウゴヨリ
口二寸
キヌタ
口二寸
四寸
ヒノツナ
口二寸
ノシコ作
置
リウゴ
ミノ虫

南蛮
高一尺
アメノ下コゲ在り
鯉耳
口直
掛
赤
柚子口
高サ九寸
口ノフクラ四寸
口ノフクラ二寸
掛
ツナキ猿
高四寸五分
掛
棒ノ先
元サハリ
唐物写
失筈口
赤
高五寸
口差渡三寸七分半
ヘラメ
クヽリ枕
節上下共六節
肩ニアリ
差渡三寸五ト
高六寸
釣舟
赤

掛
飴粽
銅
口二寸
鶴ノ首
フクラ二寸五分
口一寸
置
金紋
本名物長治郎作
モミ烏帽子
黒
凡高二寸六分大サ下ニテ四寸
掛
牛角
肩耳
カブラ矢
是二ツ体好ト云共不分明
アリヘイ糟
水さし

○華缶希聞録

○一志野焼ハ志野宗信手焼ナリ瀬戸竃ノ事也織アノ焼モ同様古織殿瀬戸竃製ナリ其比五所九抔珎重セシ故金海五所九抔ヲ写シタル物トゾ少シ昔志野ハ白ノ志野ヨリハ元来下品ナリ然レ氏志野ニ赤加ヘタルハ希也昔志ノモ無ニノ多ヲ上品トス志野ハコウ臺ノ高キヲ好ミトストゾ

○一瀬戸水指渋紙ニ黄ノアルノヲ黄シブ紙ト云フ

○一明ノ萬歴製ヲ上品トスルハ其比明朝ニ陶工人陳李龍ト云者赤エナトヲ精来シテ萬歴年中陶器盛也或時李龍屛風ヲ陶ニテ作リシニヒズミ出来テ成ラス幾度モ製シ果ニハ夫婦竃ノ内ヘヒズミヲサセジト押ヘ居テ終ニ焼死失ルトゾ夫故世夫婦ヲ神トシ陶工人共祭リケルト申傳ヘルト也

○一風呂鋪板ノ曲取リカケ合也塗リハ赤只好ニテ琉球風炉ニ用合セニ好マレシトゾ

○一山田宗徧ハ長久茨木願寺門徒寺ノ嫡子也生得茶好ニテ住職ニ男ヘ譲リ大坂ノ遠久流ノ宗匠何某ニ六年学ビ皆傳ヲ請ケ猶モ奥ヲ窮メントテ其比京都ニ宗旦有リト聞テ寄宿シテ十年余学ビ皆傳ヲ許トゾ或時吉良上野介御使ニテ京都ニ上リ宗旦宅ヘ来リ此節江戸表モ茶事流行ス可然宗匠ナシ何卒貴老出府アラハ高録ニ召抱ントノ宗旦我ハ老タリ又望ナシ幸ヒ内弟子ノ内ニ宗徧ト云者在リ執行積ミ御間ニ合可申旨依テ是レヲ召連アレト申ケレハ双方熟談成テ吉良氏宗徧ヲ同道帰府有折節時ノ執権小笠原侯其事ヲ望マレシカハ吉良モイナミ難クテ小笠原家ヘ十五人扶持ニテ宗徧御召抱ヘニ成仍之代々此侯ノ御茶道ニテ名宗也ト改メ大将家ヲ始諸侯ガ茶道ノ門人多シ其内ヲ十人談判ノ上相傳許召ノ事ヲ評定シ宗也

宅ヘ㐂内三人出席列坐ノ上相傳致候事　和ノ入門ノ節モ濃茶會ヲ催師弟ノ約ヲ許トナリ

一右流義ニ作花生ニ置居ハナシ利休作ノ内彼ノ一重切遠城寺ト尺八トヲ本ニ而切ル事　二重切モ有先ハ少ハ園城寺尺八ノ二ツヲ主意トシ切ルトゾ

一大吹竹寸法

○長サ九寸九分　○太サ八分　○節上ヘ三寸

一利休形白張風炉先屏風寸法

○高サ二尺三寸　○横巾三尺一寸　京間ノ積リ　但シ三尺間ニハ巾二尺九寸五分

○厚サ張上テノ五分　○フチ五分四方

右ハ黒奥塗近来フチ四分ニスル細キ方セシヨシ

○久田家風炉灰圖

一内一文字　一片手灰　一心　一妹脊山　一衣掛　一扭トヂ　一布袋　一真ノ阿弥陀堂　一真涎懸　一河岸　一香炉

一外一文字　一落チ穂　一横雲　一庐山　一三重　一蝙蝠　一山篝　一雲龍　一真笑　一網代　一草ノ涎カケ

一下一文字　一巴　一洲崎　一霰　一二枚土器　一藐　一笑　一園手　一草ノ阿弥陀堂　一眉ノ真

一大一文字　一[illegible]闕（切カケ）　一澤瀉　一深山　一三山　一矢筈　一桜上　一飯桶　一織部　一眉ノ草

○右四十二法惣シテ大暑ニハ高ク寒キ時ニハ低クスル也

落穂

什知
廣石目

初夏

巴

早涼

キリカケ

加カノ下地一文字ヲツフシト灰乱ヲク

什知土器
不見ル

仲夏

心

服カキ上

角

中暑

横雲

中暑

洲崎

深峯

右門

ウロコ形

大暑

妹背山

右門

土器

蝙蝠
山篝
外角ヲ
押通ニ
祝義ニ用ル也
笑
俄客ニ用ル也
按上
矢筈
真阿弥陀堂
布袋
庐山
極暑
三重
霰
二枚土器
深山
三山
衣掛
扣

雲龍

園手

土徳新時灰也

円

コヲ手ギハニ

飯桶

又雷盆

土徳中角一文字ニ土器ノ縁ニ出シテ両方ヘマワス

淀掛

又鉄桶

奥笑

朔望祝事ニ用

草阿弥陀堂

織部

宗旦ヨリ是ヲ用

ハツシ灰共云

細代

眉真

眉草

河岸

香炉

草淀掛

外一文字

大一文字

木瓜口搔上灰

○以上四十二図

○久田家所秘也

○何某亭水屋有増也

松井宗吾指南

水屏巾三尺
定法ヨリ狭
故本式錺
不成略考
也

○唐物名物古金襴之部

○一 二人静 同 紫 地紋丸鳳凰ノ九大サ九分程飛紋ノ間九分

○一 雲山 同 七ツ星蟠龍

○一 東大寺 同 金地ニ重竪菱宝尽

○一 花キリン 同 作リ土大サ七分程本キリン紋但茶地ヒロード地モアリ

○一 雞頭 丹地 小葉ケイトー立来リ高サ二寸大小二手在

○一 長楽寺 丹地 花付呉芝一房紋

○一 植柳 同 七ツ目龍紋

○一 筒井 同 金地横菱瓜ノ内龍

「京呉服屋植柳喜六所持巻物故号ス

○一 大燈 同 雲ニ宝尽 呉芝牡丹

○一 栗山 同 角龍大サ四分

○一 冨田 同 雲ニ宝尽

○一 山崎 同 雲ニレイシ唐草 大雲冨田ト云

○一 野田 赤地 小サキ丸蝶ヒケ斗銀

○一 鳥山 モヘキ地 金銀鷸遠

○一 蜀錦 茶地 金地竪菱金地梅花紋色茶地鷸遠 竪ニ股ヲリ

○一 逢坂 花色地 七ツ星龍ニレイシ

○一 鈍先 同 鈍先織入龍ノ飛紋

○一 釣石畳 モヘキ地 大小二手在綿子地星紋万字紋

○一 和久田 白地 水ニ荷葉蓮花呉鳥 但銀色糸入鬼水中モアリ

○一 木下 白地 紺糸平丸ノ内金紋龍 縦丸ノ内ラン鳥 モヘキ地モ在

○一 本国寺 濃花鳥地 ヲシ鳥ノ紋

○一 金剛 シユス地 竪ツルビシ

○一 金春 同上 宝尽ニ九ヨウ

○一 サジカ 花色地 角折入桐ノ紋

○一 法隆寺 同上 金地宝珠ノ紋

○一 鈍太鼓 同 鈍折入花太鼓

○一 火燈口 茶地 小サキ作リ出ニ内ニ龍 ヒロード地モアリ

○一 花兎 色々 作リ出紋大ニ角モアリ 作リ出ノ内ニ花兎在ル

○一 紹智 白地 花兎ノ紋竪ニ地紋在

○一 禅林寺 同 角龍地紋在団折入ニ 角龍紋大サ九分

○一 龍爪 モヘキ地 地紋卍折入

○一 角龍 品々

○一 舟越 浅黄地 角龍地モニ

○一 春藤 赤地 角龍

○一 東山 紺地 シユス地 菊牡丹唐草 モヘキ地 茶地アリ

○一 高臺寺 花色地 大牡丹ニ重ツル間ニ梅花

○一 ナゾ銭 花色地 小唐草宝尽ナゾ銭ノ紋 モヘキ地 茶地有リ

○一 朱座 茶地 金地ニ重竪菱

○一 坂田屋 浅黄地 小唐草宝尽

○一 六条 白地 小牡丹唐草宝尽ニ梅

○一 安楽庵高野 赤地 蓮花宝尽

○一 日出雲雀 浅黄地 雲ト菱ノ内ニ鳥 白地 茶地 モヘキ地アリ

○一 日建仁寺 モヘキ地 呉芝唐草 茶地 赤花色浅黄地

○一 大坂蜀銭 茶地 金地横菱ニ○紋内ニ鳥 モヘキ地アリ

○一 火燈庵 花色地 金地菱雲ニテ宝珠散ノ内龍 茶 モヘキ 赤地有リ

○一 松雲寺 紫地 少シ大 長楽寺モヨウ

○一 枝切 同地 唐草枝付一房紋

○一 細川 紺地 唐花一房波地モニ在 モヘキモアリ

一 針屋 白地大ウロコ紋

一 大黒屋 紫小唐草宝尽、本色地在

一 義滁 同モヨー一かこ大

一 ナラ切 紫 笹モンドーウツ雲 モヘキ地白ヌモヨウ

一 無名 安楽庵

銀襴ノ部

一 興福寺 萌黄地 雲ニ宝珠内ニ鳳凰 大サ一寸六分

一 泉田切 モヘキ地 角龍

一 藤云 同 少ヰ作出ニ鶏頭地紋

一 俵屋

緞子之部

一 宗雪

一 権太夫 モヘキ 同モヨウ

一 大内桐 同 桐唐草花色白地在り

一 大友 浅黄 ユエン紋内ニ龍冨ニ雲

一 荒磯 コン 波ニ鯉ノモヨウ

一 同 焼切類

一 大友菱 ヒロード地 横菱内ヘ梅筰

一 冬地 同 大ウロコ紋

一 無名銀ラン類

一 珠光 濃花色 唐草宝尽シ

一 正法寺 同 桔梗梅ニツル

一 宗薫 同 輪違ノ内ニ宝尽

一 藤種 同 角折入ノ内ニ卍字 梅花茶モン

一 三雲屋 薄モヘキ 本能寺モヨウ

一 芝山 白茶 細川モヨー

一 利休 元地 青海波雲ノ内ニ鳥浅黄モン 又花色浅黄モアリ

一 笹ツル アイミル茶 松竹梅モヨー茶紋

一 道元 元地 蔦唐草冨ニ蝶浅黄モン茶紋モアリ

「右ハ禁理御茶道野本道元所持故ニ号ス

一 白極 同 鳥タスキ

一 本能寺 同 青海波唐花宝尽シ

一 鋲先 アイヒロード 鋲先茶モン

一 下間 アイミル茶 鳥タスキ

一 細川 花色 二重折入内ニ卍 沖炯紋 ノ内ニ雨龍

一 埒墀 白地 雲折龍ノ丸紋 茶地モ在り

一 定家 浅花色 正法寺モヨー 浅黄段ノ方上手 浅茶モンノ方下手

一 遠氏 花色地 浅黄二重ノ内ニ 唐草輪違

○石すゑの銘ノ文

○一 六の無樹り也く高の手足人稀り並布彼お於るみて紗紹
を〈れ四角に乃處を叶ふみ獨静り等せバ炉火衛くれ
り釜湯沸出ん小影掛寛ヶ綫忘れし窓の竹筐上ありしも実
年の間なかゞら来る方とて村雨なる雪ふりきたるに浪白らほとりき
いとおかしくなる人もおりしバ深着の氣と益なる思ひおし
昔日の和僧して當中我在取けめ振寫ノ意味とふべし
新もけ道統嗜る年久しく兵の報り事もなくバ新と
りなりにハ行しず承思ふ事ありいもて大方崇在新ふて然人
し何の國家の垣ねみハはふふの利りかかりて天位と
依く治形を生活しまる事之御顔倒か一新も依なる偶て
於け乙とまぬしふ形を制し〈れ小すなおも也

是生活の主政人弟の所さぬ新意か利字名是我うけにて
崇ふりこ用ひ指と寄す佐名み並終道天と並べてもし師
所しかりぬ第意の安綫坪なる御ありもしふして何か是と比ぶべ
き二ッ在の言わゐるすへしみハ新ふして却ハ並ぶゐしめ振寫不盡す
聊あ什て月の後窓の銅を承まんハ何の兼然深室を察
角せぬ実縁細たきし風情を好むハ形て綫承し振寫尤せり
心とそしゝも兼えきし徳の吉き良とハ左へ信とみふる
の道有史投き兵崇斗新一ッ就吉きの考え是ハ叶まし此名
様方挿三ケ皆ふしなき来かけり雖一節佳けて茶葉
枝宗ふ之人なる人ぬ度を至て修めの合深入二至て三至
も改屋備措なる山旅深意の風情ありん度其の名綫るを
人深意と集り茶実宗禅てへや喜て速て行あか人
新しき新り切崇えく方人とのなるて加氣を作して

茶湯古事談巻之七大終

安政五午卯月

濃陽鳳凰川北

長良住　鳳鳴庵

主人写之